

## 地域シンポジウム報告書（概要）

秋津谷地域シンポジウム	
日時	平成19年7月31日(火) 午後7時～午後9時40分
場所	上秋津農村環境改善センター
参加者	市民 61名 (秋津22名、上秋津19名、秋津川20名)
	講師:堀内 秀雄教授 オブザーバー参加:和歌山大学客員教授 松岡 伸也氏
	事務局: 二葉館長(秋津)、田中館長(上秋津)、赤松館長(秋津川)、植田主査 西主事 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、上岡企画員、馬場崎主査 榊原主査、瀬戸主査、松下主査、山下主査
テーマ	地域のことを話し合おう

## シンポジウム進行次第

	内容
	<p>開会あいさつ 秋津谷地域シンポジウム実行委員会 委員長 二葉昌彦</p> <p>ミニ講演 「いま、なぜ生涯学習計画なのか」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター 堀内教授</p> <p>ワークショップ テーマ:「地域の課題・公民館の課題について」 「課題解決策、提案等について」 個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ</p> <p>閉会あいさつ 秋津谷地域シンポジウム実行委員会 副委員長 田中辰雄</p>

秋津谷地域シンポジウム

日時 H.19.7.31  
場所 上秋津農村環境改善センター



# 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
1班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちがのびのびと遊びや体力作りをする施設があればいい。</li> <li>・守りごとができていない。</li> <li>・人とのつながり</li> <li>・草刈り溝掃除などへの参加が少ない。</li> <li>・近所のつながりが無い。</li> <li>・大人と子供の絆。</li> <li>・住民間の交流がない。</li> <li>・人口が多すぎ。</li> <li>・新しく引っ越してきた人とのコミュニケーションがない。</li> <li>・若い者が地元を離れてしまっている。</li> <li>・若者の地元離れ。</li> <li>・安定した農業経営の確保。</li> <li>・後継者の暮らせる働く場所の確保。</li> <li>・高齢化。</li> <li>・高齢で1人暮らしが多くなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じメンバーばかり。</li> <li>・行事への参加者がいつも同じで、参加者が少ない。</li> <li>・公民館？</li> <li>・町内会と公民館の区別がついていない住民が多い。</li> <li>・公民館の活動内容を知らない人が多い。</li> <li>・公民館で趣味の会を持ちたいが、どうしたらいいかわからない。</li> <li>・公民館の活動をもっと知ってほしい。</li> <li>・若者の参加を促す方策をする。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ問題、回覧板でまわす。班長がみんなを集めて会議する。</li> <li>・町内の祭りを日曜または祭日にし交流を図る。</li> <li>・空き家、空き畑を活用する。</li> <li>・声かけをする。</li> <li>・多目的施設(球場)を作りたい。</li> <li>・親を教育する。</li> <li>・地場産業の活性化。</li> <li>・農場を開放する。</li> <li>・安定した農業経営ができるシステムを作る。</li> <li>・グラウンドゴルフの大会誘致。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋津谷で合同で何かまとまってイベントなりやたらいい。</li> <li>・任期は最低2年に。</li> <li>・各行事ごとに他の町内会に呼びかける。</li> <li>・会報の充実。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当たり前のことが出来ない。</li> <li>・町内会費を払わない。</li> <li>・行き着くところは、平和ボケ。民主主義が行き過ぎた。</li> <li>・ここで解決をするのは無理。</li> <li>・一人暮らし、高齢化。付き合いの出来る施設。</li> <li>・子供の数が減少。小学生の数40人。昼間は、留守や、年寄りだけのところが多い。</li> <li>・空き家を貸さない。</li> <li>・権利の主張、義務を果たさない。</li> <li>・守り手が出来ていない。役員が片付ける。</li> <li>・自転車や単車を捨てている。</li> <li>・小さい時のままの自然が地域に残っているの戻ってきてよかった。</li> <li>・出て行く子を止めたい。</li> <li>・地域でもっと呼び込みをする。</li> <li>・平日の祭りを学校等は休みにしない。土日以外は、祭りに参加しない。</li> <li>・子どもクラブで、役を逃げるために子供が6年になったら子どもクラブをやめる。</li> <li>・子どもクラブで、保険の関係で途中でやめる。</li> <li>・プールのとき横で泳ぐのを見ている。</li> <li>・給食費を払わない場合、子供に給食を食べさせない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事・会議が同じメンバー。</li> <li>・若い人たちも出来てきた。</li> <li>・公民館って何？</li> <li>・町内会と公の差か？</li> <li>・役の任期を2年以上にして、活動の内容を分かってもらおう。</li> <li>・イベントを他地域へも呼びかけ、交流を図る。</li> </ul>

# 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
2班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化。</li> <li>・高齢化社会</li> <li>・一人暮らしの老人に対するケアや思いやり等。</li> <li>・若者が地域に定着しない。</li> <li>・通学路の整備。</li> <li>・会津小前の道路が狭い。</li> <li>・子供たちを少しの時間でも良いので見守りたい。</li> <li>・市道の街灯を増やしてほしい。</li> <li>・ごみのポイ捨て。</li> <li>・たばこのポイ捨て。</li> <li>・会津川にアシがはびこっている。</li> <li>・小魚がなくなった。</li> <li>・基幹作物のみかんと梅が安い。</li> <li>・交通事故や犯罪のないまちづくり。</li> <li>・混住化が進んでいる。</li> <li>・子供たちが参加したくてもできない秋津の祭。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供と高齢者が一緒に楽しめるスポーツ的要素のある行事。</li> <li>・人権学習の充実。</li> <li>・公民館活動を自主の方向への行政からの希望があると聞きましたが、ある程度のフォローがないと小さなサークルでは無理です。</li> <li>・公民館の意見箱をおいては？</li> <li>・乳幼児にも開放してほしい。</li> <li>・指導者不足。</li> <li>・農業をもっともっと公民館で取り上げてほしい。</li> <li>・地域活動の活性化。</li> <li>・1館1主事。</li> <li>・パソコン等の機材が少ない。</li> <li>・印刷・コピー機(カラー)が充実すれば利用者も増える。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政から一人暮らしの人や老人に対して呼びかけをしてはどうか。電話一本でも…。</li> <li>・地域に根ざした産業。</li> <li>・出産手当や児童手当を多くする。</li> <li>・地域のみんなで子供や老人をみる。</li> <li>・地域産業農業を大切に守る。</li> <li>・子供の命は地域全員で見守る。</li> <li>・車道と歩道を区別する。</li> <li>・通学時間帯は通学路を車で通るのをひかえる。</li> <li>・ポイ捨てに対する法律を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権学習に対して住民の理解が得られるよう努力すべき。</li> <li>・公民館行事に興味を持ってもらえるような何か方法はないか？</li> <li>・地域の人との交流の場にもっと活用してほしい。</li> <li>・若人に公民館活動の良さを伝えていく。</li> <li>・他の公民館との交流も考えてはどうか。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの老人に、個人的に出来るケアは決まってくる。 (例)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの収集が離れている。</li> <li>・歩くのも不自由な方が困る。</li> <li>・車も乗れない老人へのフォロー等。</li> <li>・普段の生活で困っていることへのケア。</li> <li>・ゴミを取りに行ったら相手方も気を使ってくれる。</li> <li>・行政のほうで何とかしてもらえないか。</li> <li>・ヘルパーさんに頼めるか…等</li> </ul> </li> <li>・川原に葦が生えて、砂利もなくなって、環境が悪くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークルへの移行について  <ul style="list-style-type: none"> <li>行政からの資金的な支援が切られたら、講師謝礼が自分たちでは払えない。</li> <li>大きなサークルではいけるが、人数の少ないサークルでは無理。</li> </ul> </li> <li>・指導者不足  <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員等の高齢化。若者が育っていないのが課題。</li> </ul> </li> </ul>

## 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
3班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対策、地域での助け合い。</li> <li>・地球温暖化対策。</li> <li>・災害による県道の通行不能(奇絶峡)。迂回路がない。</li> <li>・安全な食品。</li> <li>・犬の飼い主がフンの始末をしない人が多い。</li> <li>・混住化の進展による農業の継続が難しい。</li> <li>・道ばたにファーストフードの食べたゴミを捨てている。</li> <li>・橋にらんかんがないところが多い。</li> <li>・住みたいと思ってもマンションや借りれる家がない。</li> <li>・少子化問題。</li> <li>・未成年者のたばこ。</li> <li>・近くに子供を遊ばす公園などが無い。</li> <li>・モラルの低下で道路沿いにゴミや空き缶のポイ捨て。</li> <li>・憩いの場が必要。</li> <li>・地域の行事に若い人の参加。</li> <li>・隣近所とのつきあいが希薄。</li> <li>・役をしてくれる人が少なくなっている。</li> <li>・農業で生活できるように。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会やスポーツ活動の参加が少なくなっている。</li> <li>・公民館活動への参加・協力者の固定化。</li> <li>・地域の活性化について少子化による人口の減少。</li> <li>・高齢者対策について。</li> <li>・公民館の取組に広く多くの町民の参加が得られていない。</li> <li>・会津小校区の問題(万呂・秋津)。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害な物は輸入しない。</li> <li>・消費者も安全な物を買う。</li> <li>・防災組織の充実を図る。</li> <li>・未だにごみを燃やしている人がいるのでそれをやめさせる。</li> <li>・各個人でできることを話し合い早急に実行する。</li> <li>・防災は町内会が主になって区長さんが自分の区をまとめ住んでいる人を把握しておく。</li> <li>・町内会単位で2～3軒単位で助け合う意識を持つ。</li> <li>・ごみ捨て防止標識を立てる。</li> <li>・地区で清掃日を決めて美しくする。</li> <li>・家庭でのしつけを充実。</li> <li>・隣近所との付き合いはまず挨拶から始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんど」の若いリーダーを育成する。</li> <li>・町民のニーズを的確に把握する。</li> <li>・広報で周知をする。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人がこれからどんどん入ってくると思うのでその対応が非常に難しい。</li> <li>・どんどん少子化が進んでいる。</li> <li>・地域の現状を把握できない。</li> <li>・町内会に入っていない人がいる。</li> <li>・盆踊りはいつまで出来るのか、若い人が少ないので・・・</li> <li>・梅作りといえば、梅ばかりを作り、田辺の人は流されやすい。</li> <li>・流通のシステムを変える。</li> <li>・近所の最寄の付き合いを良く考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業へ参加される方が固定化。</li> <li>・少ない参加者をどのように増やすか。方法はあるのか。</li> <li>・運動会をやっても毎回同じ人ばかり。</li> <li>・もっと若い人が参加してくれたらいい。</li> <li>・公民館事業の広報が少ない。</li> </ul>

# 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
4班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾斜地が多い。</li> <li>・主幹作物の一つである梅の価格が安くなった。</li> <li>・若い人たちが残れるような職場。</li> <li>・横断歩道に信号を。(大西橋)</li> <li>・街灯が少ない。</li> <li>・地元でATMがあればいい。</li> <li>・災害時の安全な避難場所がない。</li> <li>・新しく地域に入ってこられた方々が、地域の行事に参加しにくい。</li> <li>・新住民との交流が思ったほどとれていない。</li> <li>・行事に参加する人の顔ぶれが同じ。</li> <li>・地域の祭事を子供達に伝えられていない。</li> <li>・地域の団体の数が多く深まりがない。</li> <li>・イベントが多い。</li> <li>・家庭内交流(会話)の促進。</li> <li>・公園がない。</li> <li>・川が汚くて入れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事がマンネリ化している。</li> <li>・スポーツを通じての交流が少ない。</li> <li>・一部の人だけになっている。</li> <li>・参加・協力者の固定化。</li> <li>・町内会と公民館の役割が定かでない。</li> <li>・子供達が楽しくできる英語。</li> <li>・公民館と学校で計画する行事を多くしていくことが必要。</li> <li>・公民館が中心になって「地域を考える会」などを立ち上げる。</li> <li>・もっといろいろな教室がほしい。</li> <li>・職員に話す機会が少なくなった。</li> <li>・公民館に置いている本の活用がない。</li> <li>・いつも閉まっている。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターなどでアルコールや食べ物などを入れた親睦会などを定期的にする。</li> <li>・父親の会、母親の会を地域で開き、交流を図る。</li> <li>・まず、近所から声かけ。</li> <li>・公民館便りを通じて行事をもっと詳しく知らせる。</li> <li>・居住時に地域の決まりの周知が必要。</li> <li>・道路の整備については、町内会等でまとまった意見を持ち、市に陳情する。</li> <li>・地域の交通事情をまとめてボランティアにお願いし対応する。</li> <li>・交通指導員に事情を知ってもらう。</li> <li>・子供の遊び場は空き地を利用。</li> <li>・公民館の施設を開放する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上達も大事だが、交流を心がける。</li> <li>・ステップアップはサークルで。</li> <li>・必要な公民館行事をアンケートで尋ねてみてはどうか。</li> <li>・釣り大会。</li> <li>・地域の方の中で「できる人」を探し会費を少なくしてサークルを行う。</li> <li>・広報を見やすくする。</li> <li>・子供にもっと発表の場を。</li> <li>・子供の力を信じる。</li> <li>・気軽に参加できる物を考える。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者不足(地域の祭りの伝承)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事のマンネリ化。</li> <li>・合併により公民館が質・量とも遠ざかっている。(職員が派遣されるようになってから住民から離れていっているような気がする。)</li> <li>・職員に直接話す機会がなくなった。(事務所にいるのではなく現場に)</li> <li>・公民館の意義・目的がわからない。</li> <li>・公民館と学校で計画する行事が少ない。</li> <li>・公民館が中心となって地域を学ぶ地域主体の学びがほしい。地域の方からいろいろな話を聞く場を増やしていく。</li> <li>・塾などではなく、お兄ちゃんお姉ちゃんから学び、楽しく出来る「英語教室」がほしい。</li> <li>・情報の発信拠点となるべき。</li> </ul>

# 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
5班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭排水の浄化。</li> <li>・エコについてもう少し勉強会を持ってほしい。</li> <li>・自然のものをもっと増やす。</li> <li>・洪水のマップがほしい。</li> <li>・災害面での充実した現実的な擁護策。</li> <li>・青年団がない。</li> <li>・町内会行事への若者の参加が少ない。</li> <li>・人集めが難しい。</li> <li>・住んでいる部落は、最近20数軒も増え交流が難しい。常会や集まりの会に寄ってきてくれない。</li> <li>・農家の嫁不足。</li> <li>・働き場がない。</li> <li>・農地と住宅地が隣接しているので消毒や農作業がやりにくい。</li> <li>・高齢者の交通手段が限られている。</li> <li>・高校への通学が不便(単車通学)</li> <li>・大学、専門学校が近くにない。</li> <li>・少子高齢化。</li> <li>・小学校40名程度、中学校25名で保護者の負担が大きい。</li> <li>・子供たちの遊ぶ場所がほしい。</li> <li>・梅の低価格により田辺の経済が落ち込んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員を受けてくれる人が偏っている。(小中学校・婦人会・町内会・公民館)</li> <li>・活動へ出てくれる人が決まっている。</li> <li>・公民館の資金がない。</li> <li>・公民館に関しての、住民の要望、要求の収集、発信。</li> <li>・公民館活動を地域に生かせないか。(自分たちで楽しむだけで、地域活性につながらない。)</li> <li>・館報でサークルの呼びかけをお願いしているのにやってくれない。</li> <li>・活動が子供に偏っている。</li> <li>・秋津川では子供中心の活動が少ない。</li> <li>・施設内での飲食が出来ない。</li> <li>・公民館活動で酒を飲む機会がないので親睦が出来ない。</li> <li>・雨よけの二輪車を止める場所がほしい。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭で排水に気をつける。</li> <li>・防災訓練を町内会でする。</li> <li>・自分にメリットがあり本当に楽しいサークルでないと参加人数が少なくなる。</li> <li>・若者の参加を募るときはとにかく熱心に誘う。(私自身熱心に誘っていただいて参加する気になりました。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークルだけに終わらず、様々な地域との交流。</li> <li>・幼稚園、学校、お年寄りの方々と交流する。</li> <li>・いろいろな出前講座があるので利用する。(無料のもの) 参加しやすい講座を作ってほしい。</li> <li>・交流の場として、管理者は市民の要望に前向きに理解を。</li> <li>・飲酒も節度を持って利用することに理解をしてほしい。</li> <li>・行政の努力と住民の要求、積極的な発信。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得が少ない。</li> <li>・子供の遊び場がない。公園らしい公園がない。(秋津)</li> <li>・若者の活動の場がない。以前はそれで結婚に結びつくということも多かった。</li> <li>・生活にゆとりがない。(気持ちも体も)</li> <li>・高齢者が多いので、交通手段がなくなる。</li> <li>・地域活動に参加してもらえない。なじんでもらえない。せっかくこの地域に家を建てているのに、なぜなじんでもらえないかわからない。</li> <li>・個人主義に走っている。</li> <li>・青年団なんかもっとしぼりのない活動(より自由な雰囲気)を行えばもっと活動が活発になる。</li> <li>・若者の飲み会などが増えればよい。(集まる機会を増やす) 住民の努力が必要</li> <li>・ターンを増やす対策を考える。安定した生活が送れること、働く場所の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館によって、子供の活動(事業)にばらつきが大きい。</li> <li>・集まってお酒を飲める場がない。</li> <li>・資金がないので、公民館活動が出来ない。</li> <li>・公民館主事が雑務に追われすぎて、地域の課題を収集できる余裕がない。市のOBなどと手を取り合うようにする仕組みを作って、地域の課題・要望を収集できる体制を作ってほしい。</li> <li>・ルールを作って公民館でお酒を飲めるようにしてほしい。</li> <li>・施設の利用について、地域の要望に合わせた対応をしてほしい。</li> <li>・地域の人たちが自分で出来ることは自分でし、主事の雑務を増やさず、主事には地域のコーディネーター役に徹してもらおう。</li> <li>・サークル生が学んだことを地域へ還元する。</li> <li>・公民館活動に行政がもっと理解をして、人材増員や予算を組んでほしい。</li> </ul>

# 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム

6班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく来た人との交流がない。</li> <li>・新旧住民間の交流が少ない。</li> <li>・都市化が進み、隣近所の付き合いが減少している。</li> <li>・町内会への加入が減っている。</li> <li>・公共心の欠如。</li> <li>・行事は多いがマンネリ化している。</li> <li>・世代間の交流がない。</li> <li>・日中人がいない。</li> <li>・子供が少ない。</li> <li>・子供のいる場所が偏っている。</li> <li>・歩道の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に参加しにくい。</li> <li>・サークル活動へ参加するメンバーがほぼ決まっている。</li> <li>・講演会への参加が少ない。</li> <li>・公民館のサークルがよくわからない。</li> <li>・カルチャーセンター的になりすぎ。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも出来る軽作業のボランティアを行う。（草刈は重労働）</li> <li>・あいさつ運動、掃除等</li> <li>・加入促進の強化。</li> <li>・公共心を養う教育。</li> <li>・中高生が参加できるスポーツ大会をする。</li> <li>・女性の交流。</li> <li>・老人の力を活用する。</li> <li>・「地域犬」「地域猫」を媒体にすれば、子供が寄ってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌を利用して、サークルのPRをする。</li> <li>・アンケートをとって新しいサークルを作る。</li> <li>・サークルの見直し。</li> <li>・サークルのリーダーを育成。</li> <li>・広報・チラシより口コミ。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と公民館との分類が分からない。</li> <li>・アパート・マンションが乱立して、町内会に入らない。</li> <li>・子ども会にも入らない人がいて、活動が減ってきている。</li> <li>・トップダウン型の行事が多い。実際住民が楽しんでいるのか？</li> <li>・隣人同士が知り合いではない為、助け合いができない。</li> <li>・草刈りが多いので、負担を少なくしてほしい。</li> <li>・あいさつ運動をもっと活発的に行うべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバレーでも混成チームを作り、中高年が参加できるスポーツ活動を増やすべき。</li> <li>・女性が遠慮せずに参加できるものを増やしてほしい。</li> <li>・サークル活動などそ野が広がらない。</li> <li>・若い人たちとの交流が少ない為、どこの子か分からない。活動をしていても知らない人ばかりでもしるくない。</li> <li>・同じメンバーで活動を行うと、そこに入りやすくなる。</li> <li>・サークルは自分たちで運営しなければならないので、疲れる。</li> </ul>

## 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
7班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の総意が足りない。</li> <li>・町内会への加入率が低い。(77%)年3回町内会(区別)行事(堤防の草刈・草焼き・清掃)町内会加入者の約3分の1弱、住民の約4分の1の参加</li> <li>・上秋津はあまりまとまっていない。</li> <li>・秋津川は、地籍調査が出来ていないので区画がわからない。誰の土地かわからない。</li> <li>・秋津川の横断歩道。</li> <li>・道の草刈りができていない。(草を刈らないと狭い)</li> <li>・会津小学校の前の道幅が狭い上に、車の通行量が多く、スピードも出ている。</li> <li>・空き家を貸してくれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事が多すぎる。</li> <li>・役員が同じ人たちでローテーションしているだけ。</li> <li>・役員のなり手が無い。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配りものの市へのクレームなどに対して、市から公民館や町内会へ協力してもらうように説明してもらう。地域別の説明用のマニュアル等を作成する。</li> <li>・解決策はない。あきらめる心。寛大な心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員を強制的にローテーションでする。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い男性と女性とのつながりが無い。</li> <li>・いろいろな問題を解決できない。</li> <li>・マンションやアパートが増えている。</li> <li>・意思疎通が出来ない。</li> <li>・町内会へ入っていない人にも広報等を配っていたら、町内会へ入っているメリットもなく、大変なだけなので、入っている人も脱退してしまう。</li> <li>・行政は町内会に手伝いをしてほしいというのであれば、もっと町内会や子どもクラブへの加入に力を入れてほしい。このままでは崩壊してしまう。</li> <li>・加入者が少ない 参加者が少ない つながりが少ない</li> <li>・活動に参加してくれない人などに集まってもらって意見を聞いてみたらいいのでは。</li> <li>・近所の顔がわからないと自主防災は無理。</li> <li>・共同活動ができない。</li> <li>・町内会を通して、交通指導の旗を買ってもらうのはあまりお金がかからないからやってもらえないか。</li> <li>・天皇賞を取って、観光バスや視察は来るが、一部の人間が看板を守り続けて、ハード的な体裁を保っているだけである。住民の温度差がある。</li> <li>・活気がない。</li> <li>・子供の安全は、行政にお願いする。</li> <li>・堤防に自転車がたくさん捨ててある。</li> <li>・住民のモラルがなくなってきている。</li> <li>・解決策があれば、今課題にならない。</li> <li>・上秋津は見守り運動で、今まで役員だけの参加であったが今年から有志を募っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館行事にも町内会から補助金を出しているのに、町内会費が集まらなると公民館活動も活発にならない。</li> <li>・男性の教室への参加が少ない。余裕がないため。</li> <li>・公民館がまとまっていない。行事で</li> <li>・活動に参加する人が少ない。役員も参加していない。</li> <li>・公民館行事はあるが、人集めが大変。</li> <li>・強制的に集めているので、どうにか出来ている状況。自主的ではなく強制的である。</li> <li>・自主的に参加は、難しいし、時間がかかるし、意識が薄い。</li> </ul>

## 地域シンポジウム報告書（班別）

秋津谷地域シンポジウム  
8班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅が売れなくなってきた。低価格</li> <li>・官公庁・銀行がない。</li> <li>・若者の働く場の不足。</li> <li>・企業が少ない。</li> <li>・農業を含む、地場産業の弱体化。</li> <li>・農業で生活できる施策。</li> <li>・少子高齢化が早い。</li> <li>・高校以降の学習の場(大学)が田辺周辺にない。</li> <li>・子供への声かけで、不審者及び交通安全を守る。</li> <li>・一人暮らしの高齢者で、地震等の災害時の救助が心配です。(弱者)</li> <li>・新旧住民との融合。</li> <li>・混住化の問題。</li> <li>・老人と若者の取組。</li> <li>・町内会に勧誘する際に、年齢の違う人が訪問していると入りにくい。</li> <li>・地域への参加。</li> <li>・自分のことで精一杯です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一役に。</li> <li>・同じ人がいくつもの役を持っている。</li> <li>・運営企画に女性の割合は。</li> <li>・地域の人が集まりやすい場所になっているか。</li> <li>・公民館がいつ開いているのか、どのように申請すれば使えるのか、はっきりわからない。</li> <li>・老人会の再生。</li> <li>・老人の声が大きく、若い人の声が反映されていない。</li> <li>・地域の歴史を知る。</li> <li>・自然を大切に。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋津野ガルテンの取り組み。</li> <li>・地域産業の育成。</li> <li>・地域資源を生かした起業教育。</li> <li>・若者の働く場として農業会社を設立する。</li> <li>・地域資源を生かした起業への支援。</li> <li>・百姓百色(多品目栽培)</li> <li>・共同店舗を作る。(全員参加型)</li> <li>・地産地消(農産物直売所)</li> <li>・自然と共生できる農業。</li> <li>・地域通貨の利用。</li> <li>・JAからの協力を要請する。</li> <li>・地域で住む責任を明確にする。</li> <li>・年代別の代表者(男女1名ずつ)を決めておいて、会議に出席してもらい意見を聞く。</li> <li>・ネットワーク作り。</li> <li>・高齢者を災害から守るためには、近隣の助け合いが必要。</li> <li>・産業について、町内会主催で子どもへの梅採り、芋ほり体験をする。(JAふれあい農園を町で借りる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の遠足で地元の山へ(高尾山・龍神山・奇絶峡)</li> <li>・小学校からの愛郷教育。</li> <li>・地元の歴史・文化を大切にする。</li> <li>・食育教育の徹底。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化</li> <li>・大人が地域へ参加する姿を見て、子供がその姿勢から学ぶということになっていない。</li> <li>・町内会へ入る人が少ない。</li> <li>・県道田辺龍神線の交通量が多いので、子供の通学が心配。</li> <li>・地域を愛する心を持つことが地域の活性化につながる。</li> <li>・混住化が進んで、地域の繋がりが薄くなってきた。</li> <li>・そして、学校の保護者の様子も以前とは違ってきた。</li> <li>・町内会は、高齢の人だけが入っているように思う。</li> <li>・若者に元気がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ人だけが参加している。</li> <li>・障害者・高齢者(ハンディのある人)が集まりやすくなっていない。</li> </ul>